

## お茶園展望台 (展望台への誘導)

鳴門公園の丘の上、この静穏な場所にあるお茶園展望台は陸と海の全景を見晴らせます。遠くの景色も目の景色も 360 度見渡すことが可能です。ここから見られるのは鳴門海峡とその魅力的な渦潮、現代建築工学の妙を感じられる大鳴門橋、淡路島、鳴門市に向かって起伏する緑の丘陵、手付かずの自然が残る小さな飛島です。春と秋には、渡りの移動を行う数千羽の猛禽類が頭上を飛んでいく様子を見るチャンスも訪れます。

何世紀ものあいだ、この場所からの息をのむような景色を楽しむため、近隣だけでなく遠方からも人々がやって来ます。1585 年から 1871 年までこの土地を支配した代々の蜂須賀家の大名 (封建領主) たちは船で来訪し、「お茶園」の由来となった茶室を建てて楽しみました。支配者階級の不在時には、庶民がこの地に集まって鳴門の渦潮の眺めを楽しんだものでした。

この周辺地域は第二次世界大戦中を通じて重要な軍事施設だったものの、それに続く平和な数十年間、お茶園とその圧倒的な眺めは増え続ける世界中からの観光客たちを魅了し続けています。